

授業科目	* キリスト教学(旧約聖書)				単位	2		
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	NT10101J	
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	古川 敬康							
授業概要	<p>「感恩奉仕」という建学の精神は、教義の基準を聖書におくキリスト教に基づいています。</p> <p>授業では、キリスト教を「学問」として学びます。まず、キリスト教学を学ぶ意義、聖書の基礎知識、聖書の解釈の方法、そして聖書の全体の流れを学びます。次に、聖書の物語を学びます。前期は、聖書の前半を学びます。</p> <p>授業は、祈りで始まります。授業を補うこととして、学生の皆さんには、チャペル礼拝の出席と教会訪問レポートが求められます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 授業で扱う聖書の章と節の意味を理解することができる。</p> <p>2. 聖書の示す「人間の根本問題」とそれに対する「神の救済計画」を説明できる。</p> <p>3. 授業で学んだ範囲でキリスト教の価値観を現代の自分の置かれた問題と関係させて考え表現することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	5	0	25	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	60		5		25	10	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>標準レベルのことに加えて、以下のことが実行できる。</p> <p>予習として、毎回、授業のテーマの聖書箇所を読み、テキストの分からない漢字の意味を辞書で調べておく。キーワードと思われる用語、疑問や自分の考えを書き留めておく。聖書、讃美歌、テキストを準備しておく。</p> <p>授業中は、新たな疑問や発見したことを書き留め、クラスで分かち合うことができる。</p> <p>復習として、ノートを見ながら、授業で学んだテキストをもう1回読む。</p> <p>手がかりとなるものがなくても、行動目標を実行できる。</p>				<p>予習として、毎回、テーマのテキストの箇所を1回、読む。</p> <p>授業中は、用語の意味を書き込み、板書事項を写し、感想や疑問などのコメントを書いて提出する。</p> <p>復習は、テキストを読み返し、授業で学んだ内容を理解できたか、また、キーワードと思われる用語を確認し理解する。</p> <p>課題を行い、レポート提出は期日を守る。</p> <p>自作のノートやテキストを見ながら行動目標が求めている内容を実行できる。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	西南女学院と西南学院とキリスト教 南部バプテストの女性の信徒の祈りと犠牲的愛	講義	CAMPUS LIFE の「キリスト教教育とその活動」を読む。	90
2	第1章 現代とキリスト教。 (1)科学の時代にキリスト教を学ぶ意義	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
3	(2)聖書とイエス・キリスト	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
4	(3)聖書の意味論的解釈—聖書の世界	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
5	(4)聖書の構成	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
6	第2章 私たち人間の根本問題 (1)人間の関係性—「イマゴ・デイ(神の像)」	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
7	(2)アダム物語 —関係性と高慢—	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
8	(3)カイン物語 —自尊心と高慢—	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
9	(4)バベルの塔物語 —関係性と権力欲—	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
10	第3章 旧約聖書の文学—救い主待望への道 (1)アブラハム物語—関係性回復の使命と信仰	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
11	(2)ヨセフ物語 —関係性回復と思考の次元—	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
12	(3)出エジプト物語	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
13	(4)ダビデ物語 —リーダーの在り方—	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
14	(5)預言者の活動—体制批判と救い主待望論	講義	テキストと関連する聖書箇所を3回読む。	90
15	まとめ	講義	ノート、テキストを最初から振り返る。特に、目次を振り返る。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	テキストに用いられている用語の意味を確認しておくこと 各授業のテーマのテキスト単元を予め3回、目を通す技能を身に着けること 聖書にある章と節を短時間で開くことができる技術を身に着けること			
テキスト	古川敬康著『キリスト教概論－新たなキリスト教の架け橋』勁草書房,2014年。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	聖書、讃美歌。参考文献：湊晶子著『女性を生きる』角川書店,2010年。 その他、随時、講義で紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	自分とは誰で何かという自己理解や自己創造の対話の相手として聖書やテキストを読んでください。 そのために役立つ学習方法としては： <ol style="list-style-type: none"> 1. どのテキストも3回以上読む習慣を身につけること 2. 集中力を高めること 3. 自分の住まいの近くの教会を行って確認しておくこと 4. 聖書はつぶやくように音読すること 			
達成度評価に関するコメント	試験(定期試験60点)、レポート(教会訪問レポート5点)、レポート外の提出物(各授業で提出する、下記の加減点表、予復習表、授業コメント25点)、その他(チャペル礼拝出席10点) 加減点表の内容： 減点各1点(聖書、讃美歌、テキストの不持参3回毎) 加点各2点(テキスト読破感想文400字以上:1回目、2回目、3回目)			